

平成 21 年度宮前区区民会議  
宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会(第 4 回)

平成 21 年 9 月 7 日(月) 18 時～20 時  
区役所 4 階第 1 会議室

次 第

開 会

1 議 事

(1) 具体的な課題解決策について

2 その他

閉 会

《配布資料》

資料 1 宮前区のカルタづくりについて

資料 2 議論ペーパー

資料 3 具体的な課題解決策の検討に向けての整理

## 宮前区のカルタ作りについて(たたき台)

### 1 実施体制

(1) (仮称)みやまえカルタ制作実行委員会の設立

【検討項目】

- ・ 所掌事務
- ・ 妥当な人数
- ・ 参加を呼びかける団体

(2) (仮称)地区別みやまえカルタ制作実行委員会の設立

- ・ 実行委員会として設立するかどうか  
→全体の実行委員会で、地区担当を割り当てて実施することも考えられる

(設立する場合)

- ・ 所掌事務
- ・ 妥当な人数
- ・ 参加を呼びかける団体・学校

### 2 基本スケジュール

	取組内容 案1	取組内容 案2
平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体の実行委員会を立ち上げ</li> <li>・ 中学校区ごとの実行委員会を立ち上げ</li> </ul>	同左
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩き(テーマ別)</li> <li>・ 読み札募集</li> <li>・ 地区ごとにフォーラム開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩き(テーマ別)</li> <li>・ 読み札募集</li> <li>・ 絵札募集</li> <li>・ カルタ制作</li> <li>・ 地区ごとにフォーラム開催</li> </ul>
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み札選考</li> <li>・ 絵札募集</li> <li>・ 絵札選考</li> <li>・ カルタ制作</li> <li>・ 地区ごとにカルタ大会を開催</li> </ul>	同上
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み札選考</li> <li>・ 絵札選考</li> <li>・ 地区ごとにカルタ大会を開催</li> </ul>
平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルタの人気投票(インターネット)</li> <li>・ 区民祭で各地区のカルタのプレゼンテーションと人気投票</li> <li>・ 人気投票の結果を受けて、(仮称)区政 30周年記念みやまえカルタを制作</li> <li>・ 区政 30周年記念大カルタ大会の開催</li> </ul>	同左

### 3 課題

- ・ 野川地区で再度カルタ作りに取り組むべきかどうか

# 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～ 部会 議論ペーパー

## 目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

## 全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。
- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみんなで宝物を探してもらえるような動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

## 宮前区の宝・顔に関する現状と取組

- ◆地域資源（宝もの）に関する現状
  - 歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。
  - 区内の資源を総括的にまとめたわかりやすい資料が無い。
  - 観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。
  - 目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。
- ◆宮前区に対する内外のイメージ
  - 自然豊かで閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。
  - 区のイメージで「とくがない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。
  - 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないか。
- ◆その他 宮前区をめぐる現状
  - 宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？
  - 元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。
  - メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

## 宝や顔があるまちのイメージ

- ◆区民一人ひとりにとって・・・
  - 自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる
  - 地域に愛着を持っている（終の棲家とする）
  - 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている
- ◆地域社会にとって・・・
  - 地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

## 解決すべき課題

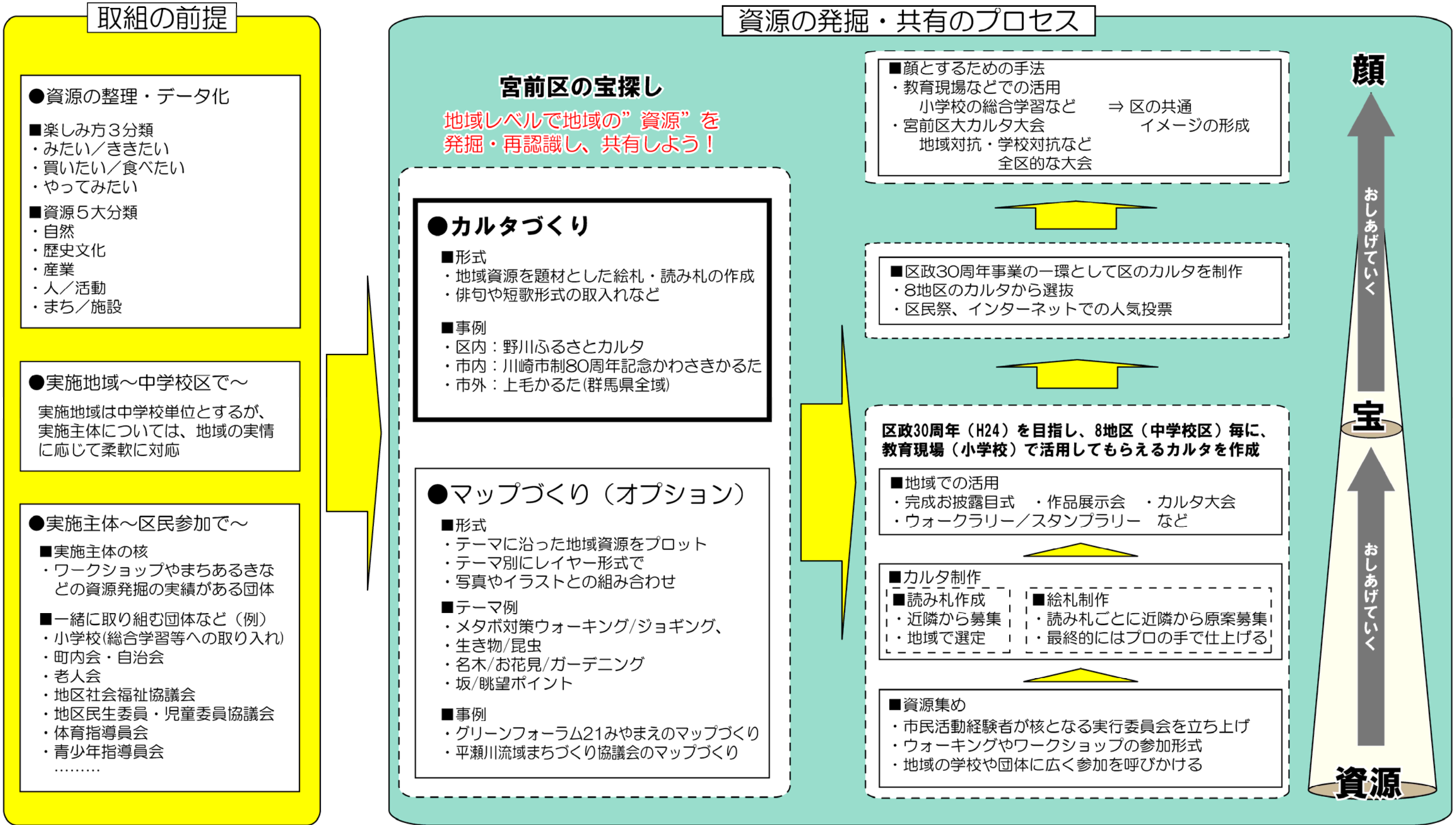
- 区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。
- PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。
- 【課題解決策に向けた検討手法】
  - 現状の資源の特徴を把握
    - 資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
    - 宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

## 具体的な課題解決策（議論中）

- ◆地域で資源を発掘し共有化するための具体的な手法→小さな地域単位で資源を宝に押し上げる
  - 【地域の単位、取組の進め方など】
    - ・小学校～中学校区の地域単位で取り組む。
    - ・地域団体や教育関係団体をはじめ、様々な世代、背景の区民が参加できる工夫をする。
    - ・子どもを上手に関わらせることで両親、祖父母世代を取り込む。
    - ・できる地域からモデル的、段階的に進める。
  - カルタづくり
    - ・野川カルタをより広く周知し、他地域での取組を推進する。
    - ・絵札の募集、読み札を俳句や短歌にする、カルタラリー、カルタ大会など更なる楽しみや演出の工夫を凝らす
  - マップづくり（オプション）
    - ・情報だけでなく遊びの要素を入れたマップ（メタボ対策ウォーキングマップ、お花見マップ、昆虫マップ、駅周辺観光マップなど地域の特色を活かしたマップ）
    - ・マップを活用したイベントを開催する。
- ◆小さな地域単位の宝を区全体の宝にするための具体的な手法→区全体で宝に顔に押し上げる
  - 【これまでのキーワード】
    - 区民祭の活用/区政30周年に向けて/地域対抗の宝のコンペ
- ◆宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法
  - ・映像コンクール 地元の宝をうまく映像としてとらえる
  - ・みやまえぼーたろう PDFマップのダウンロードサービス
  - ・小学校の総合学習など教育現場での活用
  - ・宮前区大カルタ大会 → 区の共通イメージ形成
  - ・地域対抗・学校対抗など全区的な大会

# 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

## 課題解決策提案：区政30周年に向けた、地域資源カルタ・宮前区の宝物カルタ（仮称）の作成



今後の検討課題：取組の具体スケジュール、担い手、地域や諸団体への呼びかけのための資料作成など